

(第1号様式)

令和8年●月●日

北九州市長 様

申請者 住所 北九州市小倉北区域内●一●
企業名 株式会社●●●●●
代表者 代表取締役 ●● ●●

職場環境整備助成金交付申請書

令和8年度職場環境整備助成金について、次のとおり助成金の交付を受けたいので、職場環境整備助成金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添え、申請します。

記

1 助成金申請額 500,000 円

2 事業の着手及び完了の予定期日

着手 令和8年4月15日

完了 令和9年1月31日

3 添付書類

- (1) 申請企業概要 (別紙1)
- (2) 事業計画書 (別紙2)
- (3) 経費明細書 (別紙3)
- (4) 法人の場合は、履歴事項全部証明書 (法人登記簿謄本) 及び役員等名簿 (別紙4)
- (5) 個人事業者の場合は、運転免許証の写し等の本人確認ができる書類
- (6) 暴力団排除に関する誓約書 (別紙5)
- (7) 株主名簿又は出資者名簿 [これらの持分比率又は出資比率が分かるもの]
- (8) 市税の納税証明書 [市税に滞納がないことの証明]
- (9) その他 (法人税の納税地が北九州市内であることが分かる書類、見積書の写し等助成対象経費の額が分かる根拠書類、完成予想図、工事図面及び工程表の写し、カタログ等の写し、事業実施場所の現況写真)

申請企業概要

企業名	株式会社●●●●
住所	(〒●●●●-●●●●) 北九州市小倉北区城内●-●
(フリガナ) 代表者名	姓(●●) 名(●●) ●● ●●
業種	<input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> 運輸業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> 宿泊・観光業 <input type="checkbox"/> 飲食業 <input type="checkbox"/> 理美容業 <input type="checkbox"/> その他()
資本金・出資金(千円)	●●●万円
従業員数(代表者を除く)	●●●人
(フリガナ) 担当者職・氏名	●● ●● ●● ●●
電話番号・ファクシミリ	(電話) ●●●●-●●●● (FAX) ●●●●-●●●●
担当者メールアドレス	●●●
誓約事項	提出にあたり、以下の事項について確認し、相違ないことを誓約します。
	誓約 項目
	<input type="checkbox"/> 宗教上の組織又は団体に該当しないこと。
	<input type="checkbox"/> 現在において事業を実施していること。
	<input type="checkbox"/> 市税の滞納その他の市に対する債務不履行がある等助成金の交付が適当でないと認められる者でないこと。
	<input type="checkbox"/> 本書の記載内容及び提出書類について、不正や虚偽がないこと。
	<input type="checkbox"/> 株式会社の場合にあっては、発行済の株式が中小企業者以外の会社により2分の1を超えて保有されていないこと。その他の会社の場合にあっては、出資金額が2分の1を超えて中小企業者以外の会社に属していないこと。

※誓約する場合は、各項目の誓約欄に○を記載すること。
※必ず、全項目、確認すること。

<input type="checkbox"/> 当該助成金と別に国、県若しくは市又はこれらの関係団体若しくは民間団体による他の助成金等を受けたことがないこと。
<input type="checkbox"/> 資本関係、役員関係又は実質的な支配関係にある法人(子会社、関連会社、同一の親会社を持つ会社、事業主の親族が代表を務める法人等を含む。)への発注に係る経費ではないこと。ただし、当該発注に関して客観的な合理性があることを示す資料を添えて、事前に市長の承認を得た場合を除く。

(別紙2)

事業計画書

- ※ 必要に応じて行を追加・削除してください（事業計画書が複数枚になっても構いません）。
- ※ 別途、補足資料を添付いただいても構いません。

1 現在の職場環境の課題等（課題や事業目的について、具体的に記載ください）

弊社では、近年、従業員の定着率向上を喫緊の課題としてきた。従業員へヒアリング調査を実施したところ、職場環境のさらなる改善が従業員の満足度の向上と定着に直結する重要な要素であることが判明した。これまでの取り組みとして、老朽化したトイレや更衣室の改修を行ったところ、従業員から好評を得ている。これは、職場環境の改善が従業員のモチベーションにポジティブな影響を与えることを示唆するものである。しかし、快適な休憩スペースや多様な働き方を支援する面において以下の課題がある。

- ・従業員の交流不足とリフレッシュ機会の限定：既存の休憩スペースは限られ、部署間の交流を促す機会が不足している。リフレッシュできる空間が不足し、発想力や創造性の低下につながる。
- ・従業員のライフスタイルに合わせた働き方の不足：多様なライフイベントに対応できておらず、時間的制約のある従業員が働き続けることの負担がある。優秀な人材の離職リスクを高め、柔軟な働き方を求める求職者への訴求力不足となっている。

2 事業の取組内容（取組内容について、具体的に記載ください）

① カフェスペースの新設

- ・既存食堂の一部改修：食堂の一部を改修し、カフェスペースとして整備する。食堂との導線を考慮し、利用しやすいレイアウトを検討する。
- ・温かみのある空間デザイン：椅子やテーブルには木材を多用し、視覚的な安らぎを提供するシンボルツリーを設置することで温かみのある空間を創出する。
- ・リフレッシュ機能の強化：コーヒーマーカーを設置し、従業員が気軽にコーヒーを楽しみながらリラックスできる環境を整える。その他、必要に応じて軽食の自動販売機も検討する。
- ・多目的利用への対応：休憩利用だけでなく、カジュアルなミーティングや少人数でのブレインストーミングにも活用できるよう、移動式のホワイトボードと大型モニターを設置する。

② フレックスタイム制の導入

- ・専門家への委託：提携社会保険労務士に依頼し、事業特性や従業員のニーズに合致するフレックスタイム制の導入について具体的なコンサルティングを受ける。
- ・規定の策定、追加：助言に基づき、就業規則にフレックスタイム制に関する規定を詳細に盛り込む。
- ・社内調整と周知：導入前に各部門及び従業員代表との調整会議を実施し、制度の運用に向けた意見交換を行う。また、従業員向けの説明会や社内掲示板を活用し周知を行う。

実施場所
(事業所所在地)

北九州市小倉北区城内●—●

3 期待される効果

① カフェスペースの新設

部門を超えたコミュニケーションが期待できる。

また、くつろいだ状態であると、通常よりも発想力や創造力が高まると言われている。従業員がカフェスペースでリフレッシュしたり、部門を超えたコミュニケーションをとることで、生産性の向上や新しいアイデアの創出が期待できる。

近年、就職先の決定にあたり、職場環境を重視する人が増えていると言われており、カフェスペースの整備は求職者へのアピールポイントになる。

② フレックスタイム制の導入

子の送迎や、家族の介護時間などが取りやすくなるほか、プライベートの充実も期待できる。これにより、従業員の意欲や満足度を向上させ、定着の促進を図っていききたい。

【目標数値】

- ・時間外労働の削減（令和10年3月末までに対令和7年度比20%減）
- ・離職率の低下（令和10年3月末までに対令和7年度比5%減）
- ・従業員の新規採用（令和10年3月末までに20名の採用）

4 従業員の新規採用計画（令和9年4月1日から令和12年3月31日まで）

期 間	正社員	パート
令和 9年4月1日～令和10年3月31日	10人	5人
令和10年4月1日～令和11年3月31日	10人	5人
令和11年4月1日～令和12年3月31日	5人	2人

5 事業の推進体制

① カフェスペースの新設（令和8年4月～令和9年1月）

令和8年4月～6月：専門家による設計・デザイン委託および詳細仕様の策定。従業員アンケートを実施し、ニーズを反映。

7月～12月：工事請負事業選定、契約。家具・什器の調達。

1月：カフェスペース竣工、利用開始。

責任者：総務部 部長 ○○ ○○

担当者：総務部 ○○ ○○

協力体制：従業員代表のプロジェクトチームを結成し、利用者の意見を吸い上げる。

② 就業規則の改正（令和8年9月～令和9年1月）

令和8年9月～10月：提携社会保険労務士との協議、改正内容の具体化。

11月～12月：社会関係部署との調整会議、従業員への説明会開催準備。

1月：就業規則の改定・届出、従業員への説明会実施、運用開始。

責任者：人事部 部長 ○○ ○○

担当者：人事部 ○○ ○○

協力体制：提携社会保険労務士（顧問）、各部署の管理職

(別紙3)

経費明細書

1 支出

経費区分	経費の内訳	単価(円)	数量	金額(円)
工事費	カフェスペース新設にかかる 工事費	●●●●円	一式	●●●●円
備品購入 費	カフェスペースに設置する椅子	●●●●円	●脚	●●●●円
	コーヒーマーカー	●●●●円	●台	●●●●円
	ホワイトボード	●●●●円	●台	●●●●円
	大型モニター	●●●●円	●台	●●●●円
委託料	就業規則改正に係るコンサル ティング	●●●●円	●人分	●●●●円
合計				(A) 1,000,000円
助成金交付申請額: (A) × 1 / 2 (千円未満切捨て) ※50万円を超える場合は50万円を上限とする。				500,000円

2 収入

項目	金額(円)	摘要
市助成金	500,000円	
自己資金	500,000円	
借入金	0円	
その他 ()	0円	
合計	1,000,000円	支出の合計(A)と 同額

※必要に応じて行を追加・削除してください(経費明細書が複数枚になっても構いません)。

(別紙4)

役員等名簿

役職名	(フリガナ) 氏名	性別	生年月日
代表取締役	(キタクユウ ハナコ) 北九 花子	男 女	明・大・昭・平 ●●年●月●日
	()	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	()	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	()	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	()	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	()	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	()	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	()	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	()	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	()	男 女	明・大・昭・平 年 月 日

上記の内容に相違ありません。

また、職場環境整備助成金交付要綱第2条に定める要件を確認するため、他の行政機関に上記の情報を提供することに同意します。

企業名 株式会社●●●●

代表者名 代表取締役 ●● ●●

北九州市長 様

住 所 北九州市小倉北区城内●一●
企 業 名 株式会社●●●●
代表者名 代表取締役 ●● ●●

暴力団排除に関する誓約書

職場環境整備助成金の申請にあたり、私（役員を含む。）は下記のいずれにも該当しないことを誓約します。また、下記のいずれかに該当することが判明し助成金の交付決定を取り消された場合には、ただちに助成金を返還するとともに、交付決定の取り消しにより損害が生じてもその損害についての賠償請求は行いません。

記

- 1 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号 以下「暴力団対策法」という。）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）。
- 2 暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）。
- 3 次に掲げる暴力団もしくは暴力団員と密接な関係を有する者。

- ① 暴力団員が事業主または役員となっている者。
- ② 実質的に暴力団員がその運営に関与している者。
- ③ 暴力団員であることを知りながら、その者を雇用・使用している者。
- ④ 暴力団員であることを知りながら、その者と下請契約または資材、原材料の購入契約等を締結している者。
- ⑤ 暴力団（員）に経済上の利益や便宜を供与するなど、暴力団の維持・運営に協力又は関与している者。
- ⑥ 自らの利益を得る等の目的で、暴力団（員）を利用した者。
- ⑦ 役員等が、暴力団（員）と社会通念上ふさわしくない交際を有するなど社会的に非難されるべき関係を有している者。